

平成27年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )									
事業名	新技術の導入による公共交通の利用推進に関する検討調査			担当部局庁	都市局			作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	街路交通施設課			課長 神田 昌幸	
会計区分	一般会計			政策・施策名	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上 29 道路交通の円滑化を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公共交通のネットワークの構築を図るため、多くの都市で基幹的な公共交通となるバスの利用環境の向上や高度化を進める必要があり、従来のバスより定時性、速達性、利便性に優れたBRTの導入を促進させるなど、利便性・安全性を向上させる道路交通システムの構築を目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	利便性の高い新たな公共交通システムを構築するためには、多くの都市で基幹的な公共交通となるバス交通の高度化(BRT導入)など、利用環境の改善を進めることが必要であるため、道路空間の維持管理や既存自動車交通への影響等を加味し、バリアフリー化や大量乗降可能なバス停などの技術的検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	11	20		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29 年度	
	平成29年度までにBRT導入等の検討都市数を10都市まで増加させる	BRT導入等の検討都市数	成果実績	都市	-	-	-		
			目標値	都市	-	-	-	10	
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	講習会・研修会等の開催回数(H27年度は調査を実施。その結果を用いてH28年度以降、講習会・研修会を実施。)			活動実績	回	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	新技術の導入による公共交通の利用推進に関する検討調査費/講習会・研修会等の開催回数(H27年度は調査を実施。その結果を用いてH28年度以降、講習会・研修会を実施。)			単位当たり コスト	円/回	-	-	-	-
				計算式	/	-	-	-	-
平成27-28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	道路交通円滑化推進費	11	20	調査項目追加による増					
	計	11	20						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	道路交通の円滑化を担う事業として実施。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	道路交通の円滑化を担う事業として実施。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	道路交通の円滑化を担う事業として必要かつ優先度が高い。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は企画競争により選定。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	類似業務等によりコスト水準の妥当性を確認している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した仕様に基づき適正に執行している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事 業 の 有 効 性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関 連 事 業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議している。			
	改善の方向性	道路交通の円滑化に向け、必要性、効率性、有効性に留意しながら実施する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
都市のコンパクト化を推進する上で、基幹的な公共交通となるバスの利用環境の向上や高度化は重要な課題であり、地方公共団体が取り組みやすく、かつ利便性・安全性等の向上効果の高い道路システム構築に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
基幹的な公共交通となるバスの利用環境の向上や高度化において、新技術導入に向けた社会実験による検証や先進的な取組事例を活用した講習会・研修会を実施するなど、地方公共団体が取り組みやすく、かつ利便性・安全性等の向上効果の高い道路システム構築を進める。					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新27-039		

国土交通省  
11百万円

新技術の導入による公共交通の利用推進に関する検討調査

【企画競争】↓

民間会社

バス交通の高度化(BRT導入等)に向けて、バリアフリー技術等の有効性を検証したうえで、バス停留所等の道路構造に関する課題や方策を検討する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)